



令和六年五月号(第七十一号)

カラー版は
こちらから↓

れんげ畑は子どもの遊びランド

恵久美環境保全会



去る4月26日曇天の中、恵久美れんげ畑で白鶴保育所21名の園児さんを招いて「れん



げの集い」が開催されました。昨年10月に播種されたれんげ草が、花色の絨毯となつて咲き誇っています。子ども達は笑顔で走ったり寝転んだり、蝶々を追っかけたりと思いつきり遊んでいました。「虫が怖い」と泣き出す子も。

また、一緒に参加していただいたデイサービスさくらさんとの交流では、子ども達が利用者さんの肩をたたいてあげると、思わず涙ぐむシーンも。お返しに利用者さんから歌のプレゼント。心温まる光景も見られました。

この集いは、恵久美環境保全会の「農業・農村の多面的機能推進活動」の一環として、れんげの花が咲くこの時期に毎年実施されています。

農業・農村は「食」を支えているだけではなく、国土の



保全や水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承、体験学習や教育の場としての役割など、様々な働きを持っています。この働きを「農業・農村の多面的機能」といいます。

恵久美環境保全会では、「れんげの集い」の他にも、7月の「水生生物生き物教室」や「外来種の駆除」なども計画しております。

今後も恵久美環境保全会の「農業・農村の多面的機能推進活動」を通じて、農業・農村へのご理解を深めていただくとともに、地域の「絆」づくりの一端を担っていききたいと考えています。

恵久美環境保全会

広報担当 山本正司

三世代交流は絆づくりと学びの機会

恵久美三世代交流大運動会開催

三世代が交流する運動会は、互いに学び合う機会でもあります。

雨で1週間順延となった「第42回恵久美三世代交流大運動会」が、4月28日(日)快晴のなか開催。老若男女、多数の皆さんが参加されまし



た。今回は、田中浩介松前町長をはじめ、大政県議、足立教育長、高井北公民館長も来賓として訪れ、例年にない骨太の大会となりました。

今年も少子高齢化の影響で人数不足の組への助っ人OKで行われ、助けてもらったり助けたり、終始和やかな雰囲気で行進するプログラム構成となりました。

「親子でGO!GO!」では、子供を気遣って走るお父さんがなんとも微笑ましく癒される光景でした。また、子ども達の障害物競争では、一生懸命走る元気な姿にコロナ後の日常に戻った安堵感と幸福感を感じさせてくれました。

綱引きでは、どの組も人数が少ない為、田中町長や来場者ほぼ全員参加という異例の白熱した競技となり、結果、運も幸いして町田組が優勝。結束力の差が勝因か?

伝統の縄ない競争では、来賓の方たちも参加され、思うように萎えない藁に悪戦苦